



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第11巻第
3号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第11巻第3号). 泌尿器科紀要 1965, 11(3): 260-260

ISSUE DATE:

1965-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/112709>

RIGHT:

編集後記

インターン問題ハ仲々難シイ。昔ハ インターン モ国家試験モナカツタガ ソレデ特別ノ支障ハナカツタ 従ツテ コレラノ制度ガ絶対ニ必要ダト云ウ事ハナイ。コレラヲ行ウト云ウ事ハ大学教育ダケデハ不充分デアルト考エル事デアリ 換言スレバ 大学教育ヲ信用シナイ事デアル。大学教授ノ中ニモ インターン必要論者ガアルガ ソノ人ハ自分等ガ行ツタ教育ヲ信頼シテイナイ事ニナル。大学教育ノ中ニ不備ナ点ガアルナラバ ソレハ大学ニ於テ改善スベキデアツテ 厚生省ニヤツテモラウベキデハナイ。具体的ナ一案ヲ述ベテミヨウ。大学在学6年間ノ教育方法ヲ改善スル 卒業ト同時ニ医師免許証ヲ渡シ 身分モ待遇モハツキリ医師トスル。但シ1年間ハ教育病院ニテ実修ヲ受ケル。コノ病院ハ単ナル実習病院デハナク教育病院トシテノ資格ノアルモノデナケレバナラス。コノ病院ハ実修ヲ受ケタ事ヲ証明シ ソレニヨツテ 開業許可証ガ受ケラレル。コノヨウニスレバ インターン モ 国家試験モ不要ニナル。但シコノ際ニハ大学ニ於ケル教育モ 教育病院ニ於ケル実修モ 極メテ厳格ニ行ウ事ガ前提条件デアル。今ノヨウニ大学在学中ニハ落第サセナイデ 成績不良ノ者デモ卒業サセルヨウナ事デハ駄目ダ ソレデハ 落第サセルト云ウ嫌ヤナ事ハ厚生省ノ国家試験ニ肩代リサセルト云ウ形ニナリ 大学ノ無気力サ 卑怯サヲ示スモノトモ云エル。

現実ニハ大学病院長会議申合セガアル。ソノ主旨ハ筆者ノソレト殆ド同ジデアル。然シ厚生省ハコノ申合セヲソノママニ受取ラズニ曲解或ハツマミ食イラシテイル。例エバ大学卒業ト同時ニ国家試験ヲ行ツテ合格者ニハ医師免許証ヲ与エルト 然シコレハ仮免許デアツテ本当ノ医師トシテノ資格ヲ認メズ 俸給モ出サナイ 1年間ノ実修ヲ行ツタ後ニ本当ノ医師トシテ認メ個人開業モ許スト云ウ コレハ変ナ事ダ 大学卒業ト同時ニ国家試験ヲ行ウ意味ハ何カ。厚生省ノ考エデハ 大学卒業ダケデハ実修ガ出来テイナイト云ウノデアルカラ 卒業直後ノ試験ハ実修ヨリモ学科ノ試験ガ主ト云ウ事ニナル。ソレナラバ大学ノ卒業試験ト重複スル事ニナル。又 国家試験ニ落第シタ者ハドウスルノカ。実習病院ニ入レルノカ。或ハ入ラズニ1年後ニ再び学科ヲ主トスル国家試験ヲ受ケルノカ。又 1年間ノ実修ヲ終エタ場合ニハ ソノ病院ガ証明書デモ出スノカ。問題ハ多イ(昭和40年3月)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,200 円を前納する。1冊料金 120 円。払込みは振替口座番号 京都4772番、泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法等を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用い、附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名: 誌名、巻数: 頁数、年次。
例。中野: 泌尿紀要, 1: 110, 昭30. Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
5. 300 語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を附け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アット頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。